

急性期医療と 在宅医療をつなぐ 特定行為研修修了者の役割

平成30年
6/30 **土** 13:30~17:00

ウインクあいち (愛知県産業労働センター) 10階1002会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

会費 1,000円

主催 愛知医科大学大学院看護学研究科

●開会のあいさつ 坂本 真理子 (愛知医科大学大学院看護学研究科長)

第1部

講演 **急性期医療と在宅医療の現状と課題**

演者 三宅 養三 (愛知医科大学理事長)

演者 宮川 尚之 (宮川ホームケアクリニック院長)

座長 小松 徹 (愛知医科大学看護学部クリティカルケア看護学教授)

第2部

シンポジウム **急性期医療と在宅医療をつなぐ
特定行為研修修了者の役割**

シンポジスト 薄井 美穂 (独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 診療看護師)

谷山 尚子 (社会医療法人関愛会 佐賀関病院 診療看護師)

西田 安紀子 (三重県立一志病院 診療看護師)

座長 阿部 恵子 (愛知医科大学看護学部クリティカルケア看護学教授)

●閉会のあいさつ 坂本 真理子 (愛知医科大学大学院看護学研究科長)

わが国では、超高齢化社会と2025年問題を抱え、地域包括ケアのもと在宅医療の充実が求められています。本セミナーでは、特定行為研修修了者は、どのように急性期医療と在宅医療をつなぐことができるのかについて、在宅医療を推進する医師及び急性期医療・在宅医療で活躍している特定行為研修修了者をシンポジストに迎え、議論していきます。



参加
申込方法

本学ホームページから、または右記へ ①氏名(フリガナ)

②所属施設名 ③E-mailアドレスを明記の上、お申込みください。

※申し込み状況により当日参加も受け付けますが、可能な限り事前申し込みをお願いいたします。

お問合せ
申込先

愛知医科大学看護学部教学課(野々)

電話: 0561-61-1827(直通)

FAX: 0561-63-1093

E-mail: gakumu@aichi-med-u.ac.jp